

# 生徒指導だより

郡山市立郡山第一中学校 生徒指導部発行  
発行責任者：生徒指導主事  
発行日：令和3年11月4日(木)  
< 第12号 >



## 寒くなってきました！最低気温も10℃を下回っています。

最低気温も10℃を下回り、朝がとても寒くなってきました。日の出も6時ちょうどぐらいなので、なかなか起きるのも大変な季節になってきましたね。朝のギリギリ登校者(8時05分までに登校できない人)も10名近くとなり、ちょっと心配になってきました。翌日の準備は前日の夜のうちに行き、朝に慌てないようにしたいものです。

今回は、男子の「冬場の校舎内での服装」について、前回の続きとして確認したいと思います。学校の実情として、休み時間には窓を開けて換気をする事になっているため、この季節は、教室が寒くなっています。「郡山一中の生活」の中には、冬季制服について次のように書いてあります。

<男子> ○ 制服の下には**白ワイシャツ着用**  
(寒い場合は、制服の下でセーター等を着用し調節します。)

[上着の「下」に着用するもの]

- 華美でないもの。パーカー等のフード付きのものは着用しないこと。
- インナーについては、襟元や袖口からはみ出さないものを着用すること。



基本的には、寒い場合は、制服の下でセーターやトレーナー等を着用し、調節することになります。さらに、中にインナーを着てもよいのですが、襟元や袖口からはみ出さないように着用することになります。つまり、ハイネックの下着は、外に出ないように内側に織り込む必要があります。廊下を歩く場合は、「**見せないマナー**」も必要です。体育の後など、暑いので、ジャージを脱いでそのまま歩いていることもいいとは言えません。また、どうしても寒い場合は、ホッカイロなどを準備してくるのも1つの方法です。

今後、足元の冷えを防ぐための「**膝掛け**」の持ち込みも出てきます。膝掛けは教室内だけの使用とし、特別教室への移動の際は、肩にかけて歩くなどの行為はマナー違反です！

## 冬に向かうにあたり、こんなことにも共通に理解して生活しましょう！

### 1 通学靴について

- 冬場にもむけて、雨だけでなく雪の日も出てきます。通学靴については個人の判断で準備をすることになっていますので、生徒のみなさんの常識の範囲で準備をしてください。
- 登校後の長靴などの置き場所については、ゲタ箱に入らない場合には、**ゲタ箱の上に置くこと**も必要でしょう。

### 2 靴下の使用について

- 学生服の場合は、男女とも**くるぶしがかくれる程度の長さ**の靴下をはくようにします。  
\*学生服は正装ですので、イスに座ったときにすねの部分が周りが見えてしまうのは、恥ずかしいと思ってください。

### 3 タイツの着用について

- 実態として・・・体育の時間、タイツだけだと滑って靴が脱げてしまうことがあります。また、レギンスやトレンカをはいている人がいます。

- 体育の時は、タイツを脱いで授業を受けましょう。
- レギンスやトレンカは、日常生活にはくことは認めません。  
(使用する必要がある場合には、**担任の先生にひと言伝える必要があります。**)

#### 4 髪の毛について

○原則：男女とも中学生にふさわしい清潔な髪型です。

- ・毛染め、脱色など（茶髪等）は禁止です。
- ・前髪は目にかからない程度の長さにしましょう。
- ・髪を固めることはしないでください。
- ・肩に掛かるぐらい長い場合は、後ろで束ねると清潔感が出ます。⇒最近多く見かけます。

●自然なカットであれば良いのです。だから・・・

「段カット」や「アシンメトリ（左右非対称の髪型）」は許可していないということになります。

●「清潔感」・「清楚」がキーワードでしょう！

#### 5 その他

① 下校時刻の徹底を！・・・11月からは午後5時完全下校です。

・日の入りが11月のこの時期は午後4時台になります。不審者との遭遇を考えると、早めの下校が望めます。さらに、友だちと道ばたで話し込んで帰宅が遅くなると家族が心配しますので、寄り道せずに真っ直ぐ帰宅するようにしましょう。

\*「午後6時完全下校」は、午後6時には、校門を出て帰路につく時間です。

② 校舎内でのネーム着用を意識高く！

・校舎内では、学生服かジャージで過ごすこととなります。その学生服・ジャージには、ネームの着用が必要です。

③ 男子生徒の中には、学生服の下に長ズボンのジャージをはいている人がいます。学生服の裾からジャージがでてるのは、気になります。

## 皆さんの交通事故防止について！

郡山市内では、小・中学校合わせて交通事故が10月19日現在で、27件発生しているそうです。自転車乗用中の事故が全体のおよそ8割に当たる22件と非常に多い状況です。

特に、交差点で一時停止をした後、安全確認を十分に行わないことにより、自動車と接触した事故が多く、1年間でこの時期が一番多くなるそうです。現在の日の入りは午後4時45分。「薄暮(はくぼ)」といって、車のライトもあまり目立たず、分かりづらいので、注意が必要です。

### 【注意・確認したいこと！】

1 飛び出しは絶対にしない。

⇒「自分の身は自分で守る」の基本ですね！

2 一時停止や信号などの交通ルールを守るとともに、道路を横断するときには、青信号や横断歩道であっても、左右の安全確認を十分に行うこと。

⇒横断歩道のないところを横断する人がいて、地域から学校に連絡が入ることがあります。安全なのは、身を守ることでできる場所を通ること。

3 自転車に乗る際は、ヘルメットを着用し、夜間はライトを点灯すること

4 車や自転車に接触した際は、「大丈夫です」とは決して言わずに、警察に電話してもらうこと。さらに、できるだけ速く保護者や学校にも連絡すること。

⇒事故で受けた傷は、少し後になって痛みが増し、病院に行くようになることも多くあります。頭を打った場合は、24時間の経過を待たないと、影響がないとは言えないようです。

5 暗がりでも目立つよう、反射材を用いたキーホルダー等を身につけること。

⇒反射材がついている人は、運転者からみると、「ありがと！」といたくなるほど目立っており、早めの危険回避ができるものです。